



「魚が新鮮。酒田の食べ物はいし  
い」と話して  
くれました。  
また毎朝1時  
間ほど島内を  
ウォーキング  
しており「飛  
島から見る朝  
焼けの鳥海山

**飛島にお医者さんが赴任**  
今年の9月2日、医師の不在が1  
年5か月続いていた飛島診療所に、  
常駐の医師が赴任しました。

飛島に赴任する前、野口さんは内  
科医として長野県の病院に勤務して  
いました。以前から飛島での医療に  
関心があり、飛島医師の募集を見て  
いたときに、数ある募集の中で飛島  
が目にとまったそうです。

各地の病院で勤務経験がある野口  
さんですが、飛島での勤務は初めて。  
飛島での生活について聞くと、単身  
赴任で大変なこともあるそうですが  
「魚が新鮮。酒田の食べ物はいし



**今月の人** *Noguchi Kenichi*  
**野口 健一** さん(茨城県出身、飛島在住)  
飛島診療所医師

# さかたの風

「飛島での医師の仕事は想像してい  
た以上に大変。ベテランの看護師に  
助けられています」  
病院と異なる点として、飛島診療  
所ではどんな症状を訴える患者が来  
ても、診療所にあるもので対処しな  
ければならないなど、飛島ゆえの厳  
しさがあります。

「病気の症状はその人の今までの生  
活の総決算」と言う野口さん。病氣  
になった原因を突き止めるためには  
「島の人の暮らしを理解しなければ  
なりません」と患者との向き合い方  
を語ります。

「医療が整っても、それだけで島の  
人の生活や島全体の問題が解決する  
わけではありませんが、島の人たちが  
健康で幸せに暮らせる手助けがで  
きればと思っています。医師の活動  
には、ここまでやったら終わりとい  
う到達点はありません。医療は本来  
その人が持つ可能性を開花させるこ  
とに貢献するもの。病気を治して終  
わりではなく、その人の可能性が何  
かを、患者さんと一緒に考えていき  
たいですね」

飛島の未来を見つめる野口さんか  
ら、真つすぐに吹く風を感じました。

## フォトギャラリー

思い出のまち 19



### 冬を告げる風物詩

写真は昭和36年11月に最上川河川敷で  
行われたカヤ刈りの様子。現在は行われ  
なくなりましたが、かつては晩秋の酒田  
でよく見られた光景です。刈り取り作業  
が始まる頃に庄内平野に初雪が降り、大  
きなカヤの束が河原から姿を消すと寒い  
冬がやって来るといわれていました。

昔ながらの酒田の味  
酒田市食生活改善推進員が紹介します

## 酒田の味

42

秋になると、西晃晃地区の日向川  
には放流されたサケが大きくなっ  
て戻ってきます。1年中さまざま  
な料理に利用されるサケですが、  
ぜひ生サケが出回る旬の時期にお  
楽しみください。

## サケのマリネ

【材料】4人分

- ・生サケ切り身(60%程度).....4切れ
- ・片栗粉.....適量 A
- ・サラダ油(揚げ油).....適量
- ・キュウリ.....60%
- ・ニンジン.....20%
- ・タマネギ.....80%
- ・しょうゆ.....大さじ1+小さじ1/3
- ・酢.....大さじ1+小さじ1
- ・砂糖.....大さじ1+小さじ1



【作りかた】

- ①キュウリとニンジンは干切りにし、タマネギは薄くスライスする。
- ②Aを合わせ、①を漬けておく。
- ③サケの切り身に片栗粉をまぶし、170℃に熱した油で揚げる。
- ④器に③を盛り、その上に②をかける。

食生活改善推進員からの

ワンポイント

マリネの野菜は、旬のものを彩りよく  
たっぷり加えてください。



# 子育て講座



●お問い合わせ／市子育て支援課こども育成係 ☎26-5734

## 情けは人のためならず

「情けは人のためならず」とは、人に親切にすれば、親切にされた人のためになるだけでなく、やがて巡り巡って自分に返ってくる。人には親切にしようという格言ですが、これを実証的に確かめた興味深い研究が、この夏報道されました。

保育園に通う5歳から6歳児の日常生活を観察した結果、親切な子どもは、周りの子から好ましく思われるだけではなく、親切にされやすいことを、大阪大学の研究チームが確認したのです。

この研究では、日常、他の子の服のボタンを留めてあげたり、物を貸したりするなど親切な行動をよくする園児と、その園児の周りでこれを見ていた園児のその後の行動を丹念に観察しました。

親切な園児が、ほかの園児に親切

東北公益文科大学教授  
國眼 眞理子 先生

にした直後と普段の場面を比べると、親切にした直後では、それを見ていた園児は、親切な園児を手伝ったり、話し掛けたり、親しみの意味を込めて体を触ったりするなど、好意的な行動が普段以上に多く見られました。当たり前前の結果だと思われるかもしれませんが、ここで肝心なのは、親切な子は、親切にしてあげた子だけから「お返し」として親切にされている訳ではないということです。親切な子は、周りにいてその行為を見ていた子から「親切な子」と見られるだけでなく、好ましい働き掛けを多く受け取ることができたのです。5歳・6歳児でも、人の行動を観察することによって、友達とうまくやっていく力を育んでいることがよく分かります。



## 介護保険でできる住宅改修

●お問い合わせ／市介護保険課介護認定係 ☎26-5732

### 住宅改修の種類

#### 「手すりの取り付け」

●自宅の屋内外に、転倒予防や移動補助となる手すりを取り付け

#### 「段差の解消」

●段差のある箇所への踏み台やスロープの設置、床のかさ上げをして他の部屋と高さを合わせる

#### 「床、通路面の材料の変更」

●居室の床を畳敷きから板張りやビニール系床材などに変更する  
●廊下、階段、浴室の床を滑りにくい材料に変更する  
●屋外の通路面を滑りにくい舗装材に変更する

#### 「扉の取り替え」

●開き戸の扉を引き戸や折り戸、アコーディオンカーテンなどに取り替える  
●ドアノブをレバー式に変更する

#### 「便器の取り替え」

●和式便器を洋式便器に取り替える

### 支給金額

住宅改修に要した費用の9割を支給（上限は18万円）。残り1割および上限額を超えた分は自己負担となります。

詳しくは担当ケアマネジャーや担当地域包括支援センターへ相談してください。

### 対象要件

- 要介護認定を受けていること
- 住民票の住所地となっている自宅の改修であること

「部屋と廊下の間にある段差でつまずいてしまった」「浴槽が深くてお風呂に入るのが大変」というように、自宅内で日常生活に支障をきたしている場所はありませんか。  
介護保険制度では、日常生活の自立を助けるために「住宅改修費の支給」が認められています。